



本はともだち



No. 4

(2020.12.1)

八木南小学校

長崎小学校

Book is Friends

ブックトーク
あ・れ・こ・れ

人権とは、人間が人間として当たり前前に持っている権利のことをいいます。テーマは『人権を考える』です。



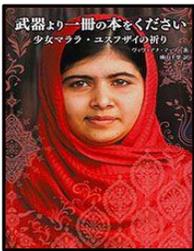
『こぎつねコンとこだぬきボン』 つばき山にすむこぎつねコンとすぎの木山にすむこだぬきボンが、それぞれのお母さんにききました。「ともだちって、なに?」「いっしょにあそびひとのことだよ。」とお母さんたちはこたえました。

〔松野 正子 文 二俣 英五郎 画 童心社 刊〕



『しらんぷり』 ドンチャンがヤラガセたちにいじめられるようになった。何日も何日も。それなのにぼくは、気がつかないふりをしてしらんぷり。ドンチャン、何か言えよ、ぼくの心が叫んでいる。

〔梅田 俊作/ 佳子 作・絵 ポプラ社 刊〕



『武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り』一発の銃弾が少女の頭を撃ちぬいた。ただ、女の子が勉強をしているという理由だけで…。信じられないけれど本当にあったお話です。少女マララのことを知ってください。

〔ヴィヴィアナ・マツア 著 横山 千里 訳 金の星社刊〕

NDC (日本十進分類法) をおぼえよう

3 類 の 巻	
30 社会科学	35 統計
31 政治	36 社会・労働・福祉
32 法律	37 教育
33 経済	38 風俗・習慣・民話
34 財政	39 国防・軍事



ぼくらにとって必要なことだよ

『子どもによる 子どものための「子どもの権利条約」』
小口尚子・福岡鮎美 文
小学館 刊



くらい

『兎の眼』

灰谷 健次郎 作
KADOKAWA 刊
角川つばさ文庫

200字 de 名作



「兎の眼」は、昭和の時代の小学校を舞台に新米の小谷先生と一年生の鉄三の交流を描く物語です。今から40年以上も前のお話なので、社会や学校の状況も変わった令和の今、「えっ」と思う場面や言葉遣いもあるかもしれません。でも、ここに登場する生徒や先生たちのまっすぐな心は、令和になった今でも色褪せることはありません。他を認め、受け入れることの寛容さが胸を打ちます。



ことばであそぼう



●●●● ちがう なかまを さがせ! ●●●●

A、Bはそれぞれ何のなかまでしょう。でも、そのなかに一つだけちがうなかまが入っています。それはどれでしょう？

A () のなかま

リンゴ	ナシ	ブドウ
モモ	メロン	サクランボ
クリ	ウメ	パイナップル
バナナ	オレンジ	カキ

B () のなかま

トマト	ピーマン	コンニャク
カボチャ	ソラマメ	ダイコン
サツマイモ	ナス	アボガド
キャベツ	タマネギ	ニンジン

答え ()
() のなかま

答え ()
() のなかま

※答えは図書館のカウンターにはってあるので見に来てね!

〔編集後記〕

私たちが住んでいる日本には1億人以上、また、世界には77億人以上の人たちがいます。お互い、見も知らない人たちですが、同じ地球に住む仲間です。12月4日から10日は人権週間です。同じ地球上で同じ時を過ごしている私たちの仲間に、思いをはせることから人権を考えてみませんか